



福島中だより

7月号

H28.6.27発行
文責：校長

先日の参観日・ミニバレーボール大会では、お忙しい中、またお足もとの悪い中ご参加いただきありがとうございました。また、南那珂地区中学校総合体育大会ではたくさんの応援とご支援ありがとうございました。おかげさまで、団体では弓道男女と剣道男子が優勝、女子バレーボールと女子ソフトテニスが準優勝し、県大会にコマを進めました。その他、個人の部で県大会に参加する生徒もいます。県大会は7月24日（日）から始まります。こちらの方も応援よろしくお祈りします。

さて、福島中だより7月号ですが、私は、明日から2年生と修学旅行に行ってきますので、ちょっと早めに発行します。ご一読ください。

●●○ ある道徳の授業から ○●●

先日まで教育実習に来られていた川崎先生（本校の卒業生）の道徳の授業を参観しましたが、子どもにとってはもちろん、私たち大人にとっても考えさせられるいい資料を使っていたので紹介します。

「地下鉄で」 小檜山 博

乗り物の中には人間のいろいろな断面がある。東京にいたころ山手線や地下鉄で、乗ってきた中年の女性が席に向かって走りながら、反対側から来た客に席をとられまいと途中でハンドバッグを投げて席を確保した恥ずかしい光景。座っている高校生や大学生が、前にお年寄りが立つと急に顔を伏せて眠ったふりをした情けない姿もたくさん見た。

つい先日、小説の取材で東北の小都市へ行き、バスに乗った。前から3列目の席に30代半ばの母親と6歳と4歳くらいの男の子がいた。その子らが大声をあげて通路を走り回ったり付近の客にぶつかったりして迷惑をかけているとき、母親が大声で「ほら、静かにしないと運転手さんに叱られるよ」と言った。するとその言葉が聞こえたのだろう、運転手さんがマイクで「親のあんたが叱りなさい」とたしなめる口調で言ったのだ。車内のあちこちから拍手が起こり、ぼくも思わず笑ってしまった。

*** 中略 ***

ある夕方、ぼくは自宅に帰るため札幌の都心の地下鉄の駅で電車を待っていた。ホームの乗車口には、買い物帰りや勤め帰りの人の長い列ができていた。ぼくが並んでいる列の先頭から5人目に、小柄なお年寄りの女性が並んでいた。いくぶん腰も曲がって80歳近くに見える彼女は、両方の手に大きな紙袋を下げている。ときおり、荷物を床へ置いてはしゃがみ、深い息をつく。その後ろに並んで、小声で喋ったり笑ったりしている二人の少女は中学生ぐらいだ。彼女たちから4人後ろがぼくだった。

構内放送が電車が入ってくるから白線まで下がるようにと言い、列が後ろへ動いてお年寄りの女性がよろける。ぼくは前に行って彼女の荷物をもってやるかどうか迷いつづけた。

満員の人を乗せた電車が入ってきてとまる。しかし降りた客は少なく、電車の窓越しに見える空席はほんの3、4人程度だ。

ホームにいた客が乗りはじめ、お年寄りの女性の後ろにいる少女の一人が、いきなり前のお年寄りを押しのけるようにして前へ出て並んだ。彼女は前の人につづいて小走りに車内に入ると、素早く人々の間をすり抜け、1つだけあいていた席へ座った。ぼくは眉をひそめて舌打ちした。なんて行儀の悪い女の子だろうと腹が立ったのだ。

紙袋を引きずるようにして車内へ入ったお年寄りの女性が、扉のそばの床へ荷物を置いて保護棒にしがみつく。肩で大きく息をしている。席をとった方の少女が中腰に立ち、あとから乗ってきた少女に向かって片手を上げて手招きした。笑っている。

あとから乗った少女は小さくうなずくと、背を丸めて保護棒につかまっているお年寄りの女性に「席ありますから」と言った。そして片手で2つの紙袋を持つと、もう一方の手でお年寄りを抱きかかえるようにして客を掻き分けて歩き出したのだ。

席に座っていた少女が立ち、そこへお年寄りを座らせた。荷物も倒れないように足元へ置く。お年寄りが腰を90度に折って礼を言っているのに、少女たちは顔を真っ赤にして逃げるように小走りにこっちへきた。

彼女たちはぼくが立っている連結器のそばへくると、肩で大きく息をしながら吊革につかまった。その顔に浮いた汗がキラキラ光った。ぼくは彼女たちに向かって何か言いそうになるのを、やっとこらえた。とても言葉くらいでは、少女たちのなかにある美しさをたたえることなどできないと思ったのだ。

（講談社刊 「人生という旅」による）

※読みやすくするため一部表現を変えています。

いかがでしょうか？このような資料を使って、子どもたちは週1回程度、道徳の授業を受けています。先日の参観授業でも2年生は道徳の授業を参観していただきました。

こういう話を読むと心がとても温かくなります。また、福島中の生徒もこんな生徒だといいなあ、こんな生徒に育てたいなあと思ってしまいます。それと同時に、大人である、そして親である自分はどうだろうか？子どもたちの前に模範となる姿を示しているだろうか？毎週このような道徳の授業を受けている子どもたちの前に立つ大人として、恥ずかしい姿を見せてはいないだろうか？と不安になったりもします。

子どもにこうして欲しい、こう育ててほしいと願うのなら、まずは大人である私たち教師や保護者がそうなる必要があります。そして、後ろ姿でそれを示すことが大切です。子どもたちの健やかな成長のために一緒にがんばりましょう。

7月の主な行事

- 1日（金）遠足（1年）※2年は修学旅行最終日
くしま学校外学習（3年）
- 4日（月）リフレッシュデー
- 8日（金）高校説明会（2・3年）
- 19日（月）リフレッシュデー
- 21日（木）終業の日（22日～夏季休業）
- 23～25日（土～月）県吹奏楽コンクール
- 24～27日（日～水）県中学総体